

## 平成 29 年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）

## 輸出、輸入とも 3 期連続の減少

## 1. 概要

## (1) 貿易額

平成 29 年上半期の輸出総額は 4,301 億円（前年同期比 96.6%）、輸入総額は 4,636 億円（同 97.0%）となり、対前年同期比で輸出は 3 期連続の減少、輸入も 3 期連続の減少となった。

また差引額は▲335 億円となり、4 期連続の輸入超過となった。

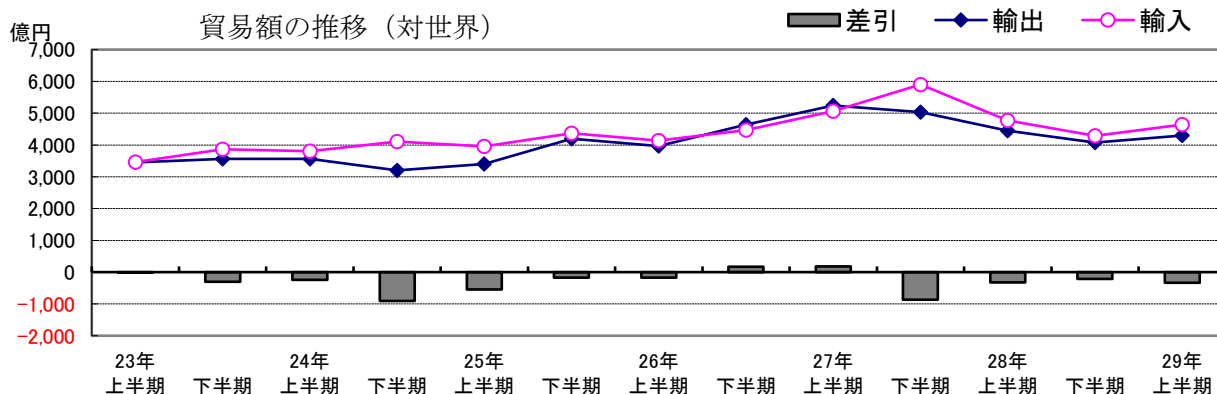
## (2) 主要品目（上位 3 品目の構成比）

輸出の主要品目は「半導体等電子部品」（9.5%）、「電気計測機器」（8.0%）、「電気回路等の機器」（6.8%）、輸入の主要品目は「医薬品」（16.0%）、「半導体等電子部品」（8.6%）、「有機化合物」（8.4%）であった。

## (3) 国（地域）（上位 3 カ国の構成比）

輸出の上位 3 カ国（地域）は「アメリカ」（23.0%）、「中国」（17.3%）、「韓国」（7.8%）、輸入の上位 3 カ国（地域）は「アメリカ」（23.9%）、「中国」（13.6%）、「ドイツ」（9.9%）であった。

区分	金額	前年同期比	推移(対前年同期比)
輸出	4,301 億円	96.6 %	3 期連続の減少
輸入	4,636 億円	97.0 %	3 期連続の減少



## 2. 主要増減品目別動向

## 【輸出】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 自動車用等の電気機器	67 億円	3.0 倍	+ 1.0
	2. 科学光学機器	215 億円	115.4 %	+ 0.6
減少	1. 通信機	39 億円	25.4 %	▲ 2.6
	2. 自動車の部分品	197 億円	72.1 %	▲ 1.7
	3. 半導体等電子部品	410 億円	89.9 %	▲ 1.0

## 【輸入】

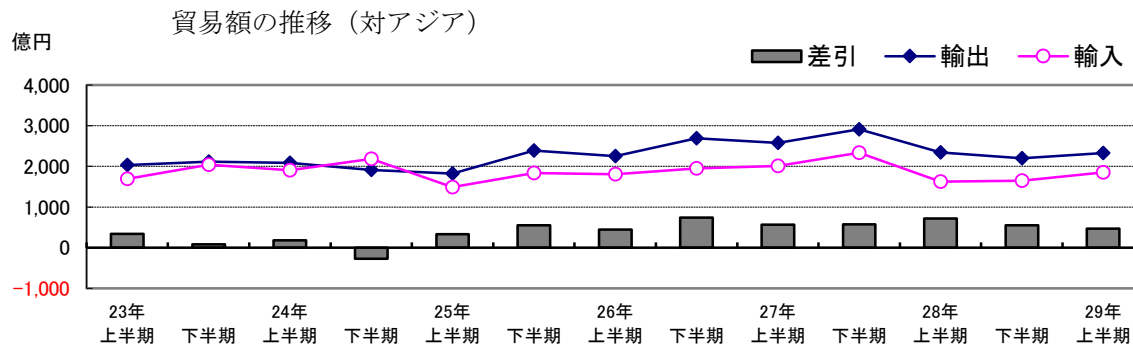
	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 原動機	353 億円	132.8 %	+ 1.8
	2. 有機化合物	388 億円	120.6 %	+ 1.4
減少	1. 航空機類	243 億円	47.0 %	▲ 5.7
	2. 半導体等電子部品	399 億円	78.1 %	▲ 2.3
	3. ポンプ及び遠心分離機	39 億円	47.3 %	▲ 0.9

《参考》ドルレートは、112.83 円/ドル（前年同期比 0.3 %、0.29 円の円高）

### 3. 主要地域（国）別動向

#### （1）アジア

区分	金 額	前年同期比	推 移(対前年同期比)
輸 出	2,324 億円	99.2 %	3 期連続の減少
輸 入	1,854 億円	114.0 %	3 期ぶりの増加



#### 【輸出】

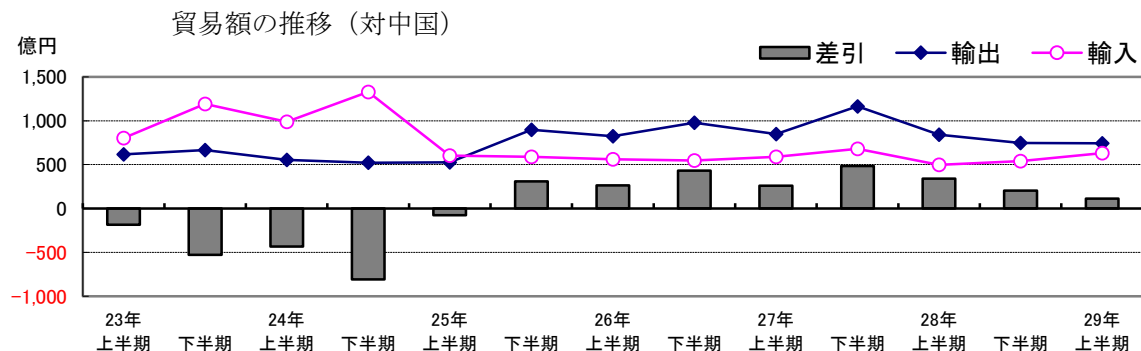
	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 自動車用等の電気機器 :	28 億円	2.9 倍	+ 0.8
	2. 科学光学機器 :	144 億円	114.6 %	+ 0.8
減少	1. 通信機 :	32 億円	22.0 %	▲ 4.9
	2. 半導体等電子部品 :	378 億円	90.5 %	▲ 1.7
	3. 自動車の部分品 :	51 億円	62.3 %	▲ 1.3

#### 【輸入】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 有機化合物 :	72 億円	9.3 倍	+ 4.0
	2. 衣類及び同附属品 :	136 億円	124.3 %	+ 1.6
	3. 音響・映像機器（含部品） :	85 億円	134.7 %	+ 1.3
減少	1. 半導体等電子部品 :	318 億円	81.8 %	▲ 4.3
	2. 魚介類及び同調製品 :	3 億円	11.1 %	▲ 1.6

#### （2）中国

区分	金 額	前年同期比	推 移(対前年同期比)
輸 出	744 億円	88.6 %	3 期連続の減少
輸 入	631 億円	126.7 %	3 期ぶりの増加



#### 【輸出】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 電気回路等の機器 :	90 億円	137.7 %	+ 2.9
	2. 重電機器 :	32 億円	157.7 %	+ 1.4
減少	1. 通信機 :	14 億円	9.7 %	▲ 15.6
	2. 音響・映像機器の部分品 :	12 億円	31.5 %	▲ 3.2
	3. 医薬品 :	51 億円	68.3 %	▲ 2.8

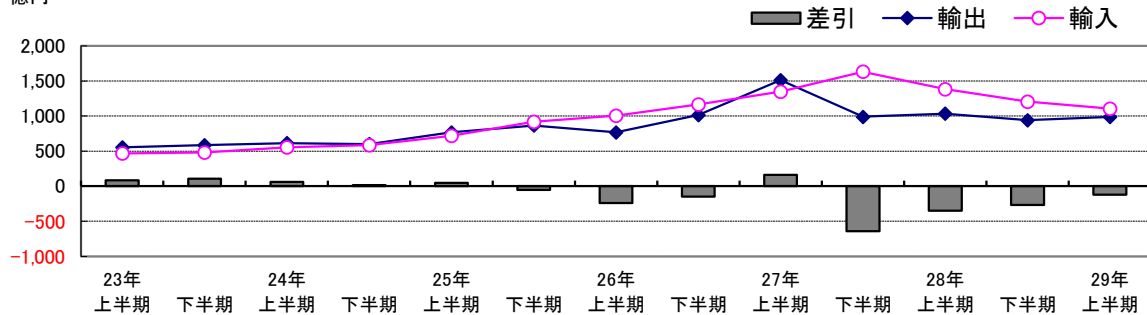
#### 【輸入】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 衣類及び同附属品 :	65 億円	136.6 %	+ 3.5
	2. 音響・映像機器（含部品） :	41 億円	133.1 %	+ 2.1
	3. 半導体等電子部品 :	34 億円	137.0 %	+ 1.8
減少	1. 時計及び部分品 :	3 億円	31.7 %	▲ 1.4
	2. 魚介類及び同調整品 :	1 億円	25.7 %	▲ 0.6

### (3) アメリカ

区分	金 額	前年同期比	推 移(対前年同期比)
輸 出	987 億円	95.5 %	4 期連続の減少
輸 入	1,107 億円	80.1 %	2 期連続の減少

億円 貿易額の推移 (対アメリカ)



#### 【輸出】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 自動車の部分品	72 億円	130.8 %	+ 1.6
	2. 自動車用等の電気機器	11 億円	3.6 倍	+ 0.7
減少	1. 電気計測機器	73 億円	69.7 %	▲ 3.1
	2. 金属製品	40 億円	70.8 %	▲ 1.6
	3. 航空機類	42 億円	74.6 %	▲ 1.4

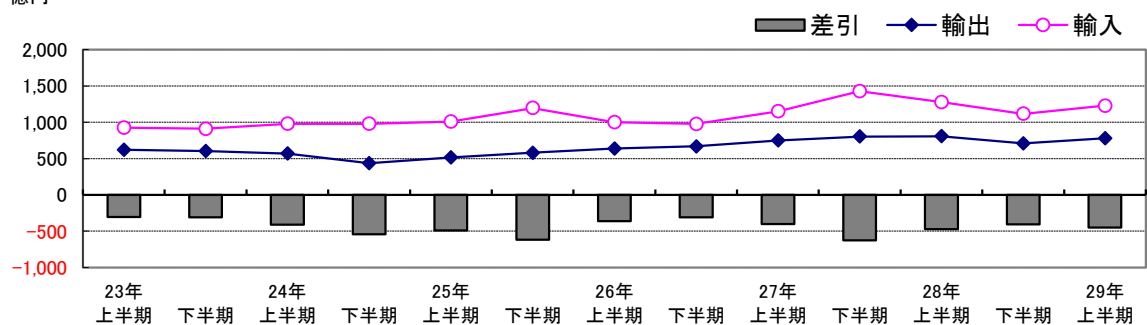
#### 【輸入】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 原動機	249 億円	117.2 %	+ 2.7
	2. プラスチック	24 億円	137.3 %	+ 0.5
減少	1. 航空機類	177 億円	55.9 %	▲ 10.1
	2. 半導体等電子部品	58 億円	54.0 %	▲ 3.6
	3. 電気計測機器	44 億円	62.4 %	▲ 1.9

### (4) EU

区分	金 額	前年同期比	推 移(対前年同期比)
輸 出	780 億円	96.6 %	2 期連続の減少
輸 入	1,229 億円	96.1 %	2 期連続の減少

億円 貿易額の推移 (対EU)



#### 【輸出】

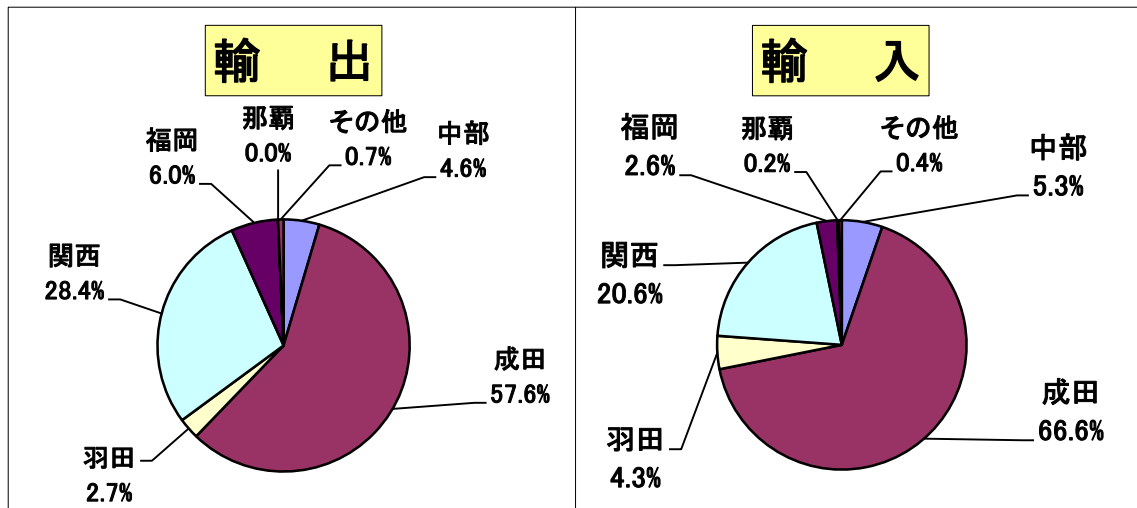
	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 自動車用等の電気機器	26 億円	4.2 倍	+ 2.5
	2. 半導体等製造装置	12 億円	4.5 倍	+ 1.2
減少	1. 自動車の部分品	49 億円	46.3 %	▲ 7.1
	2. 原動機	69 億円	89.8 %	▲ 1.0
	3. 非金属鉱物品	40 億円	84.0 %	▲ 0.9

#### 【輸入】

	品 目	金 額	前年同期比	寄与度
増加	1. 医薬品	627 億円	111.1 %	+ 4.9
	2. 原動機	60 億円	2.7 倍	+ 3.0
減少	1. 航空機類	36 億円	22.8 %	▲ 9.6
	2. ポンプ及び遠心分離機	10 億円	30.1 %	▲ 1.9
	3. 電気計測機器	51 億円	88.8 %	▲ 0.5

#### 4. 全国主要空港との比較

空 港	輸 出		輸 入	
	金 額	全 国 比	金 額	全 国 比
中 部	4,301 億円	4.6 %	4,636 億円	5.3 %
成 田	54,109 億円	57.6 %	58,662 億円	66.6 %
羽 田	2,543 億円	2.7 %	3,784 億円	4.3 %
関 西	26,645 億円	28.4 %	18,141 億円	20.6 %
福 岡	5,638 億円	6.0 %	2,315 億円	2.6 %
那 覇	20 億円	0.0 %	185 億円	0.2 %



#### 参 考

##### ★寄与度

個々の品目が輸出(入)総額の増減に対してどれだけ影響したかを示す指標です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{個々の品目の当期輸出(入)額} - \text{個々の品目の前年同期輸出(入)額}}{\text{前年同期の輸出(入)総額}} \times 100$$



この概況に関するお問い合わせは  
中部空港税関支署 税関広報広聴官  
または 通関総括第1部門にお願いします。

TEL 0569-38-7607(税関広報広聴官)  
FAX 0569-38-7609  
TEL 0569-38-7639(通関総括第1部門)  
FAX 0569-38-7647